

Ⅲ 産業や歴史を大切にした “地域の魅力と誇りを 育むまち”

- 1 地域経済基盤づくり
- 2 活力ある工業等の振興
- 3 活気ある商業の振興
- 4 魅力ある農業の振興
- 5 地域資源の活用

施策 1 地域経済基盤づくり

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅲ

基本方針

- 企業の経営基盤の強化を支援し、さらに市産品のブランド化や販売促進に力を注ぐことで市内産業の経済活動を活発化します。

関連する個別計画

- 川口市産業振興指針

キーワード

- 中小企業への制度融資の充実
- 市内企業の販路拡大支援
- 地域貢献活動を行う事業者の存在
- 事業承継の支援
- 創業の支援

主な背景事象

- 市内中小企業の経営基盤を強化するため、事業者の積極的な財務状況の改善、研究開発・設備への投資、生産性向上といった活動を促す必要があります。
- 地域経済の活性化のため、全市をあげて市産品の活用を促進するとともに、販路の拡大を支援していく必要があります。
- 鋳物・機械・植木などをはじめとした本市の産業は、次世代の経営者が不足し事業承継が難しくなっています。
- 中小企業が減少している中で、民間活力を高めていくためには、地域の開業率を引き上げ、雇用を生み出し、産業の新陳代謝を進めていくことが求められています。

1

2

3

4

- 少子高齢化社会における労働力の確保
- 女性の社会進出を支援
- 川口若者ゆめワークでの就職支援体制

- 少子高齢化社会下での労働力人口の減少により、市内企業での労働力の確保が懸念されています。
- 日本は欧米に比べ女性の社会進出は遅れており、指導的地位に占める女性の割合も低くなっています。
- 若者をはじめ、幅広い年代の求職者を対象に就職の支援をし、生活を安定させることが望まれています。

- 産業クラスターの形成に向けた取り組み

- 市内中小企業の存続・発展のためには、企業が互いに連携し、時代のニーズに合った新たな商品の開発や新分野への進出を促進していくことが求められています。

- 技術・技能の後継者不足

- 若者の就業者の比率が減少傾向であるために、市内製造業における技術・技能の後継者が不足しています。
- 市内製造業に在籍する卓越した技術・技能者を多くの市民に認識してもらうために、広く周知していく必要があります。

目標指標

指標

現状(年度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	30.3 (R2)	現状値を上回る
技能検定等受検手数料助成金交付件数 [件]	42 (R1)	100
市内総生産額 [百万円]	1,446,635 (H29)	県内市町村における伸び率を上回る

単位施策と主な取り組み

企業経営の強化支援

- 市内中小企業などの経営基盤強化のため、事業に必要な運転資金、設備資金及びICTなどの先進技術導入のための資金に対する制度融資の充実を図ります。
- 市産品の活用促進イベントや庁内消費などの取り組み、市民消費活動の促進により、市内経済に波及効果を及ぼし、産業の活性化を図ります。
- 地域社会への貢献活動を行う市内事業者などを支援するとともに、積極的に市内外へPRし、事業者の社会的信頼の向上及び販路拡大を図ります。
- 後継者の人材育成やM&A等の「第三者承継」の支援をすることで、今ある会社・事業を次世代に引き継ぐ環境づくりをめざします。
- 創業に関するセミナー・講習会や、専門家による個別相談などの取り組みにより、創業希望者の課題解決のための支援を行います。

就労環境の向上

- 合同企業面接会などにより、市内企業の人材確保につながる支援をし、雇用の安定を図ります。
- 女性のさらなる社会進出を支援する事業の実施により、企業内で女性が活躍する場を増やし、市内企業の成長、市内産業の活性化を図ります。
- 川口若者ゆめワークにおいて、若者、シニア、女性を対象として、就職に必要な知識の習得及び企業との面接会などの就職支援を行うことで、就職者数を増加させ、市民生活の安定を図ります。

企業間連携の支援

- 産業クラスターの形成などに向けた取り組みを推進し、新分野進出や事業受発注、新製品開発などの企業間連携を支援します。
- 商工会議所・商工会などの活動を支援します。

担い手の育成と技術の振興

- ものづくりイベントを通じて年代を問わず多くの市民が職人と接し、その高度な技を直接感じるとともにものづくりの楽しさを体験し、技術・技能を尊重するまちづくりをめざします。
- 卓越した技術・技能者を顕彰することで企業内外における評価を向上させ、担い手を確保・育成し、市内製造業の活性化と技術の振興を図ります。

施策 2 活力ある工業等の振興

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅲ

基本方針

- 高い技術力を活用した製品の高付加価値化や積極的なPRといった差別化を図る活動を支援し、ものづくり産業の振興を図ります。

キーワード

主な背景事象

1

- グローバル社会における競争力強化の必要性

- グローバル化による新興国との競争激化によって、円安の状況においても、輸出増に結びつきにくい経済環境となっています。本市では鋳造・機械・木型といった代表的な工業が発展してきましたが、これらの産業界においても、国内だけでなく国際的な競争力が不可欠となっています。

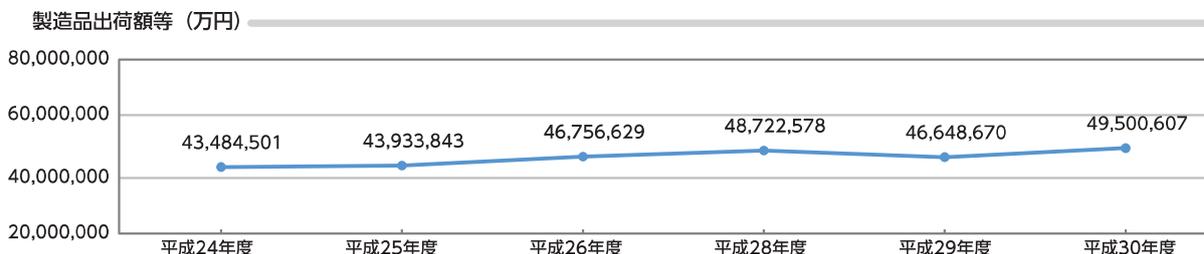
2

- 企業立地の推進による地域経済の活性化

- 地域経済をさらに活性化させていくため、市内中小企業の事業拡張や市外からの企業立地を、さらに強力で支援していくことが求められています。
- 都市化の進展による工業地域への住宅立地が進み、地域住民と事業者が協調したまちづくりが求められています。

工業の推移（従業者4人以上）

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査
※平成27年度はデータなし





目標指標

指標

現状(年度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	40.5 (R2)	現状値を上回る
従業者数(製造業) [人]	22,866 (H30)	全国における伸び率を上回る
製造品出荷額 [百万円]	495,006 (H30)	全国における伸び率を上回る

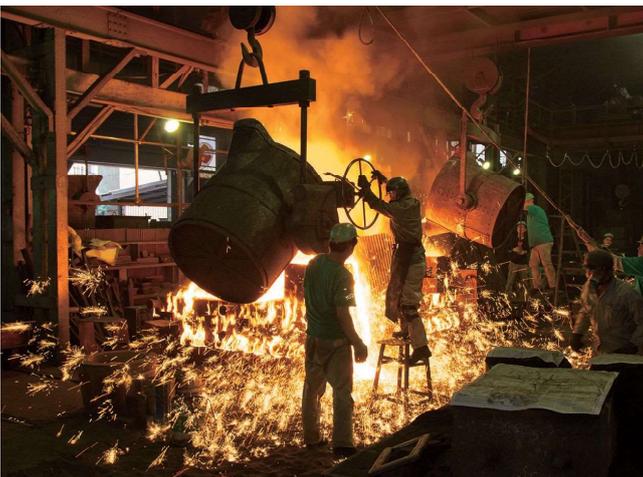
単位施策と主な取り組み

ものづくり産業のさらなる振興

- 市内企業の競争力を高めるために、技術力の維持強化や製品の高付加価値化、製品のPR、販路拡大の支援を行い、ものづくり産業の振興を図ります。

企業立地及び業務拡張等の支援

- 市内企業の新規事業及び事業拡張などを支援するとともに、市外企業の市内への進出を促進するため、補助や融資を行います。さらに企業が立地できる環境を整備します。
- 企業が、地域との良好な関係を維持するために、地域の一員としてコミュニティ形成を図る活動を支援していきます。



鋳物工場



市役所第一本庁舎2階 市産品紹介コーナー

施策 3 活気ある商業の振興

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅲ

基本方針

- 人々が買い物を楽しめる商業環境づくりと、地域に密着した商店街の魅力づくりを支援し、商業の振興を図ります。

キーワード

主な背景事象

1

- 大型店やチェーン店の進出
- インターネットショッピングの利用増加
- 消費者ニーズの多様化
- 消費者の高齢化
- 空き店舗の増加

- 大型店やチェーン店の出店、インターネットショッピングの利用増加は、個店の事業活動や利用者の消費行動に大きな影響を及ぼしています。
- 消費者ニーズの多様化は、商店街にとって脅威となる一方、販路の拡大など、ビジネスチャンスであるともとらえられます。
- 消費者の高齢化に伴い、商業活動においても高齢者への配慮が必要となってきています。
- 商店街は、地域経済において重要な役割を担うとともに、地域の暮らしを支える生活基盤として多様なコミュニティ機能も担っています。

商業の推移

資料：商業統計調査、経済センサス-活動調査

	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年	平成28年
事業所数(箇所)	5,195	4,720	4,614	3,241	3,388
従業者数(人)	37,271	35,434	35,217	26,913	30,842
年間商品販売額(百万円)	1,135,468	1,016,082	1,028,704	1,051,832	1,122,968

※平成26年調査は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更が行われました

目標指標

指標

現状(年度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	63.9 (R2)	現状値を上回る
従業者数(卸売業・小売業) [人]	30,842 (H28)	全国における伸び率を上回る
年間商品販売額 [百万円]	1,122,968 (H28)	全国における伸び率を上回る

単位施策と主な取り組み

にぎわいある商業活動の振興

- 多様化する消費者ニーズに応えるため、大型店などとの差別化を図りつつ、個店の特性を活かした個性的で魅力ある商店街づくりを支援します。
- 空き店舗対策等、商店街の良好な景観づくりを支援します。
- 商店街を核とした地域コミュニティの醸成や高齢者にやさしい施策を展開することで、地域の暮らしを支える商店街の魅力づくりを支援します。



ふれあい祭り in 並木



川口七夕まつり

施策 4 魅力ある農業の振興

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅲ

基本方針

- 歴史と伝統を誇る植木を中心とする花きや野菜といった本市の農産物（生産地）のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みをつくることで、都市農業の振興につなげていきます。

関連する個別計画

- 川口市農業基本計画（川口市都市農業振興計画）

キーワード

- 農業者の高齢化と後継者の不足
- 「植木の里・安行」ブランドの強化
- ブランド強化による本市の農業 PR や販路拡大の必要性
- 市街化調整区域における農業振興事業計画の認定

主な背景事象

- 都市化の進展により農地は減少し、さらに農業者の高齢化や後継者不足により農家戸数は減少の一途をたどっています。また、耕作放棄地などの問題も抱えており、都市農業はますます厳しい状況となっています。
- 江戸時代から続く「植木の里・安行」ブランドなどをはじめ、本市は植木を中心とする花きの産地として知られていますが、近年では売上が低迷しています。
- 都市農業のメリットを活かすため、市民農園や6次産業化をはじめとした農業の新たな形態に関心が高まっています。

1

- 都市化による農地の減少
- 防災やレクリエーションといった都市農業機能の役割

2

- 首都圏において、まとまった農地の存在は、防災やレクリエーションなどの農地が有する多面的機能の観点からも重要であり、都市農地を保全する必要性が高まっています。
- 農地と住宅が共存していくためには、相互の理解が必要となっています。



市役所マルシェ



川口市営植物取引センター

対応する主な
SDGsのゴール



目標指標

指標

現状(年度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	49.9 (R2)	現状値を上回る
市内総生産額(農業) [百万円]	1,516 (H29)	県内市町村における伸び率を上回る
市民農園区画数 [区画]	741 (R1)	951

単位施策と主な取り組み

都市農業の振興

- 川口緑化センターや市内外のイベントで本市の農業をアピールするなど、緑化産業や伝統野菜といった地域における特色ある農産物のブランド力を強化し、さらに流通拠点の機能強化や農業協同組合などとの連携により販路拡大を図ります。
- グリーンセンターにおいては、植木を中心とする花き園芸の啓発及びイベント等を実施し、緑化産業の振興を図ります。
- 都市農業の経営を支援するとともに、企業・団体間の連携などによる、消費者にとって魅力ある農産物・加工品の生産を支援します。
- 市街化調整区域内の対象区域において、農業振興施設(農家レストラン等)の設置など農業振興に資する事業計画を認定・支援し、地域の振興や都市農業の活性化を図ります。

都市農地の保全

- 営農困難な農地を、市民が親しみやすい市民農園や、観光農園として活用する取り組みを支援するとともに、生産緑地の指定により、農地の減少を抑え、都市農業としての機能や価値を高めていきます。

農業の推移

資料：埼玉県市町村民経済計算

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
市内総生産額(農業) (百万円)	1,121	1,267	1,431	1,513	1,516



グリーンロード・ウォーキング



グリーンセンター(花壇広場)

施策 5 地域資源の活用

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅲ

基本方針

- 本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。

キーワード

主な背景事象

1

- 誇れる文化や芸術
- 多様な伝統芸能・祭り
- 地域の魅力を市内外へアピールする必要性
- グリーンセンターの再整備

- 本市はものづくり・植木のまちとして発展してきましたが、それらの産業と合わせて、本市の魅力形成している豊かな自然や地域に根差した文化芸術、さまざまな祭りなど、多様な地域資源を本市の魅力として発信し、集客や交流、ブランド力の向上などに活かしていくための戦略が求められています。
- グリーンセンターは、武蔵野の自然林を残した都市公園で、緑化の振興を図るとともに、緑豊かな施設として市民に親しまれてきましたが、開園から50年以上が経過し、園内の施設、設備及びインフラ等の老朽化による不具合や、園路の地盤沈下が顕著に現れてきています。

2

- 歴史や文化の継承
- 文化財の魅力発信

- 本市が今日まで大切に育んできた歴史や文化を正しく理解し、次世代へ引き継いでいくために、文化財を調査・保護することが必要です。また、地域の文化財保護活動への支援は、コミュニティの活性化にもつながります。
- 本市は、木曾呂の富士塚、赤山城跡などの史跡や旧田中家住宅などの建造物のほか、数多くの有形・無形の文化財を有しており、その魅力を広く発信していくことも重要です。

3

- SKIPシティの有効活用

- SKIPシティは平成15年にオープンし、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭をはじめとした映像産業の取り組みも定着しています。平成31年3月には、埼玉県・NHKと「SKIPシティにおける土地交換及び新たなNHK施設の整備に関する基本協定書」を交わし、令和8年度中にNHK施設の運用開始が予定されています。



たたら祭り（流し踊り）



グリーンセンター（わんぱく広場）

目標指標

指標

現状(年度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	35.0 (R2)	現状値を上回る
記者会見・記者懇談会資料提供件数 [件]	33 (R1)	40
川口市公式 Twitter フォロワー数 [人]	2,365 (R1)	10,000

単位施策と主な取り組み

地域資源を活用したシティプロモーションの実施

- 東京と隣接したアクセスの良さ、日光御成道や赤山城跡をはじめとした歴史的資源、イイナパーク川口など豊かな自然環境とのふれあいの場、特色ある産業などを活かして、広く「川口市」をPRし、イメージを定着させていきます。
- 市民の「川口市」への愛着を高めるとともに、本市の認知度・交流人口・定住人口の増加を促進します。
- 既存の地域資源に加えて、新たに整備が検討されている美術館などを活用し、アートなどと連携したブランド化を促進することによって、誘客を促し、地域の活性化を図ります。
- グリーンセンターは、園内の施設及び設備等の改修や再整備を推進し、安全性の確保と市民サービスの向上を図ります。また、植物園及び公園としての魅力を発信し、川口緑化センターやイイナパーク川口などの周辺の施設とともに、本市の観光に資する場として活用し、観光客の誘致による地域の活性化を図ります。

歴史的資源の保護と活用

- 文化財や歴史的資料などの調査・収集・保存を行います。
- 文化財保護の意識や市内の文化財への知見を深めるために、積極的に企画展や講座などを開催し、文化財を公開していきます。
- 歴史教室や見学会を通して、文化財や地域の歴史に対する理解を深めるとともに、郷土川口への愛着を高めていきます。

SKIP シティを活用した地域の活性化

- SKIP シティを、映像などのコンテンツに関する新しい産業創出や情報発信の拠点として整備・活用するほか、地域住民等の利便性向上のために整備を図ります。また、周辺駅とのアクセス性の向上を目的とした交通ネットワークの整備を推進するほか、周辺の住環境と調和のとれた整備・活用を進めることで、多くの交流や活動を生み出し地域経済の活性化を図ります。



旧田中家住宅（和館）



SKIPシティ国際Dシネマ映画祭

